

この添付文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読み下さい。

【アレルギー用薬】

ネバシー®

第2類医薬品

- ◆ じん麻疹・湿疹・鼻炎などは、身体の防御反応の異常から生じるアレルギー症状の代表的なものです。
- ◆ ネバシーは、アレルギー症状を起こす生体の反応を抑え、じん麻疹・湿疹・鼻炎に使用して良いアレルギー疾患改善のお薬です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のアレルギー用薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(かぜ薬、鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬、乗物酔い薬等)
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
(眠気等があらわれることがある。)
3. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 次の症状のある人。
排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人。
緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
泌尿器	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診察を受けること。

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
口のかわき、眠気
4. 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要があるため、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

じん麻疹、湿疹、かぶれによるかゆみ、鼻炎

用法・用量

次の量を食後に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

年齢	1回量	1日服用回数
大人	2錠	3回
15歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)



成分・分量

本剤 6 錠(600mg) 中

クロルフェニラミンマレイン酸塩……………12mg

添加物としてカンゾウ末、コムギデンプン、ステアリン酸マグネシウム、タイソウ末、乳糖を含有する。

- ・本剤は黄褐色で、特異なおいを有し、味は甘く後わずかに苦い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬も原料としていますので、多少色調の異なることがあります。効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

薬と養生

ネバシーは生薬の特性を活かした生薬配合製剤ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

また、気持ちの持ち方(気の養生)や食生活(食の養生)に注意することも、病気を治すためには大事なことです。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬配合製剤や養生方法のことをご理解いただいている医師やホノミ漢方会々員の薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号